

ちゅう さん かん

中山間 夢便り



令和元(2019)年12月 第25号
編集・発行 栃木県農政部農村振興課
農村・中山間地域担当

中山間地域等直接支払交付金の第5期対策の主な変更点について

農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続するための支援制度として、平成12年からスタートした本制度も20年が経過し、来年度から第5期対策に移行します。

国が以下のとおり方針を示していますので、協定の継続を是非ご検討下さい。

- ①10割単価の要件を「集落戦略」の作成に一本化
農地の将来を話し合っって作成する「集落戦略」の策定により継続的な営農体制の構築を推進
- ②集落機能の弱体化等の課題に対応するための加算措置を創設・拡充
集落協定の広域化による事務軽減、外部人材の活用、ラジコン草刈機・ドローン導入による農業生産性の向上等が対象
- ③「遡及返還措置」の見直し
活動を中断した場合、過去へ遡って交付金を返還させる遡及返還を原則廃止
- ④「棚田地域振興法」における「指定棚田地域」への加算措置創設
棚田の保全と棚田を活用した地域振興の取組を支援



茂木町 石畑

小砂village協議会が農林水産大臣賞を受賞しました!!

農林水産省では、農山漁村における地域づくりの優良事例を表彰し、その業績を広く紹介することで、全国的な展開に繋げています。

この度、那珂川町の「小砂village協議会」が“豊かなむらづくり全国表彰事業”で農林水産大臣賞を受賞しました。

当協議会は、景観と芸術をあわせた美しい地域づくりをテーマとして地域づくりに取り組み、里山風景を大切に守っています。

また、トレイルラン、フットパスなどのイベントを開催し、美しい里山を楽しんでもらうほか、都市部の学生の皆さんと農家民宿や農業体験により交流しています。

さらに、景観と芸術をあわせた地域づくりを通じて、芸術関係者の移住も増えており、地域活性化につながっています。



「山林の中のアート」



「里山でフットパス」

中山間地域で行われている取組を紹介します

広報活動プロ養成講座を開講しました！

県では、中山間地域の直売所など拠点施設において、SNSを活用した効果的な情報発信ができる人材を養成するために、「広報活動プロ養成講座」を開講しています。

今年度は、7月18日、7月25日、8月22日に開講したところ13名が参加し、SNSの使い方・使い分けや魅力的な写真の撮影方法を学びました。

受講者された方は、講座修了後さっそく道の駅の公式インスタグラムを開設するなど、SNSを活用した情報発信が実践されています。



●実施事業：中山間地域人材養成実践講座

企業と地域が連携した協働活動の取組について

足利市名草

県では、地域貢献への関心が高い企業と中山間地域による連携活動の取組を応援しています。

9月7～8日に足利市名草で開催されたイベントへ出展した「とちぎコープ生活協同組合足利センター」は、職員4名がイベント会場の準備(テント設営)を手伝うなど、地域組織との協働の輪が広がりました。参加したとちぎコープの職員の皆さんからは、「来年も一緒にイベントを盛り上げたい」との頼もしい言葉を聞くことができました。



●実施事業：企業連携促進事業

墨田区自然学校と地元の交流

鹿沼市上粕尾

9月15日(日)に墨田区立自然学園を訪れた児童と、粕尾小学校の児童が、地域住民とともに、道路沿いのポケットパークや道沿いにアジサイの苗を植えました。

参加した児童たちは、地元の参加者との交流を楽しむとともに、自然の中でのびのびと活動していました。

当地域では、道路の美しいアジサイを観てもらうことで、訪れる皆様をおもてなしをしたいと考えています。



●実施事業：中山間地域実践活動支援事業

とちぎ夢大地応援団カレッジを開催しました！

茂木町深沢

県では、次代を担う若い人たちを対象に、農業・農村へ理解を深めていただくため、「とちぎ夢大地応援団カレッジ」を実施しています。

9月14日(土)に茂木町で、帝京大学の学生等15名と地域の方が、いちごの苗の定植を行いました。

学生は、程良い暖かさのビニールハウスの中で、一生懸命に作業を行い、農作業の大変さを感じていました。



●実施事業：とちぎ夢大地応援団推進事業

今後みなさんに地域の情報を提供していきます。
御意見、御感想をお寄せ下さい。

(連絡先) 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
栃木県農政部農村振興課

TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337

Eメール noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp



農村地域の旬の情報をお届け！

